

## 「デニムフロア」グッドデザイン賞受賞

田島ルーフィングの置敷きビニル床タイル「デニムフロア」は、2018年度グッドデザイン賞(Gマーク)を受賞した。インディゴ染料で染められた本物のデニム生地を表面材に使用したビニル床タイル。歩行による経年変化でデニム生地の色が変化し、独特の使用感が楽しめるのが特徴。デニム生地は国産デニムメーカーのカイハラ社の製品。

今回、「従来の建築仕上げ材の多くが実現できなかった、劣化ではなく経年変化を楽しむという新しい価値観を商品に結実させた」と評価を得ての受賞となった。

なお、最新のGマーク全件が集まるグッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION2018」が10月31日(水)から11月4日(日)まで六本木の東京ミッドタウンで開かれる。

東京室内装飾新聞(第627号)より引用